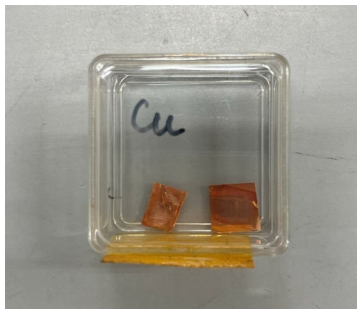


# コンタミネーションを除去 する方法による効果 (AES)

【試料】：銅



通常通りの  
固定方法

【前処理】

- ①ホルダーを分解し、サンプルを超純水(5分)→エタノール(5分)超音波洗浄した。
- ②ホルダーを組み立て直した後に、ホルダーを工業用ドライヤー(100℃以上の高温)で熱した。
- ③通常通りに固定した場合と高温で熱した場合で汚染状況(コンタミネーション)の違いを比べた。



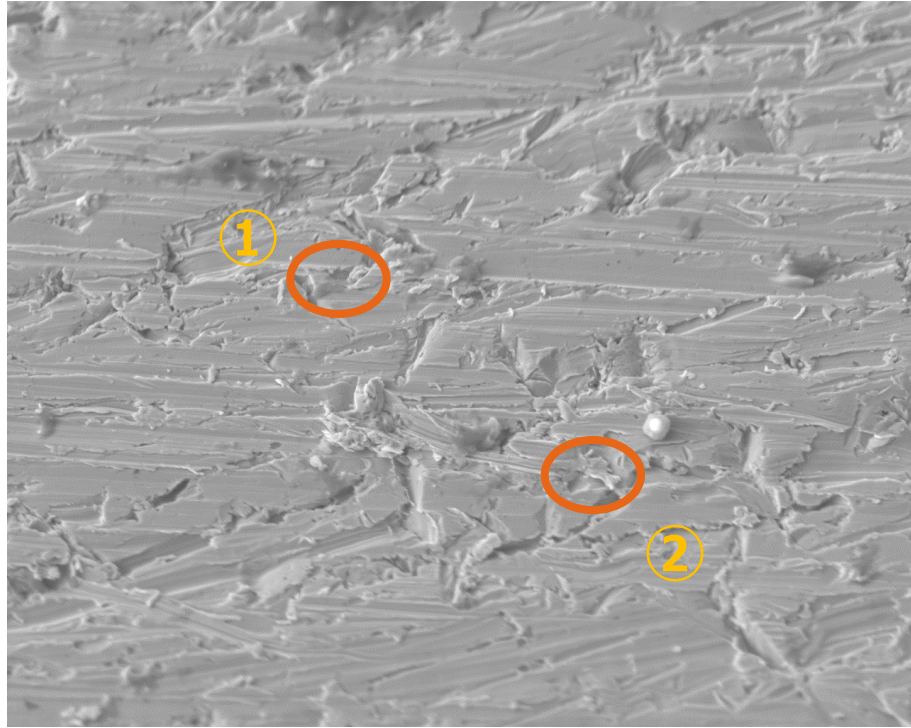
工業用ドライヤー



ホットスターラー  
で温度確認



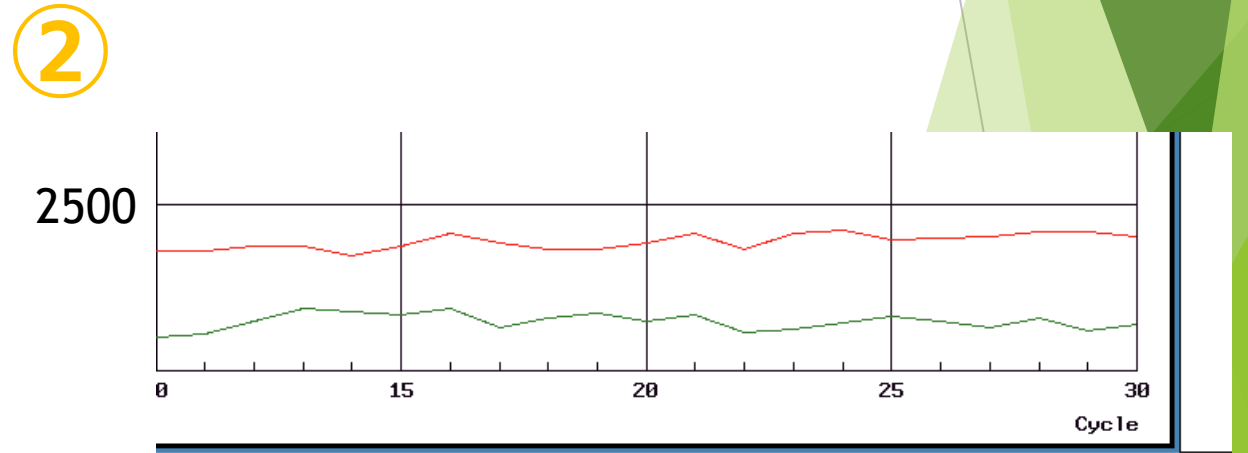
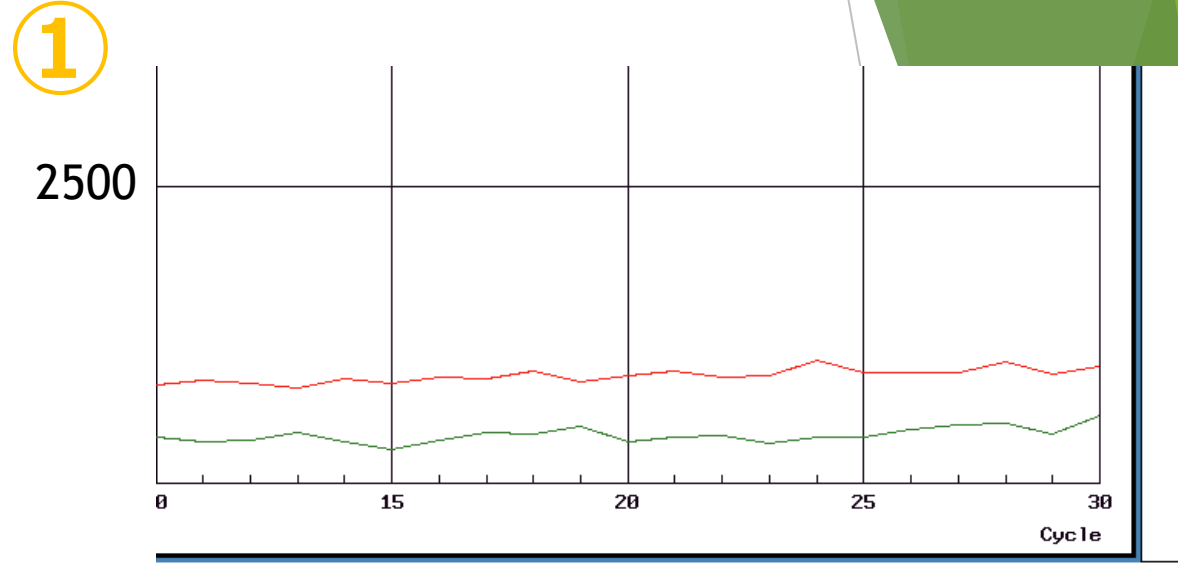
# 通常通りに固定した場合



SEM像

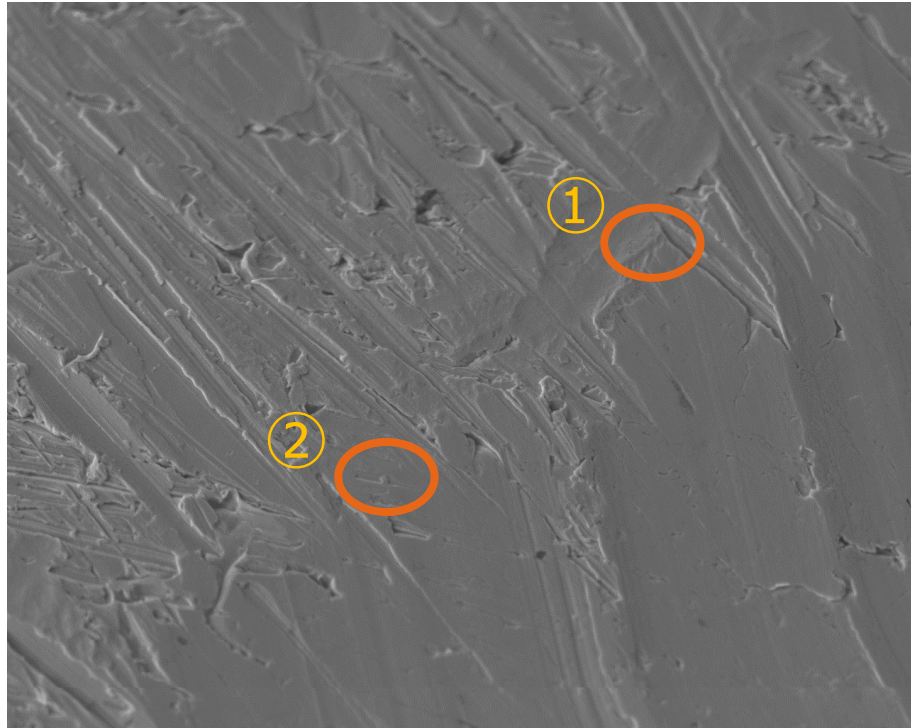
時間が経つにつれて、  
少しずつ、Cが増加している。

デプスプロファイル



赤色 : 炭素(C)

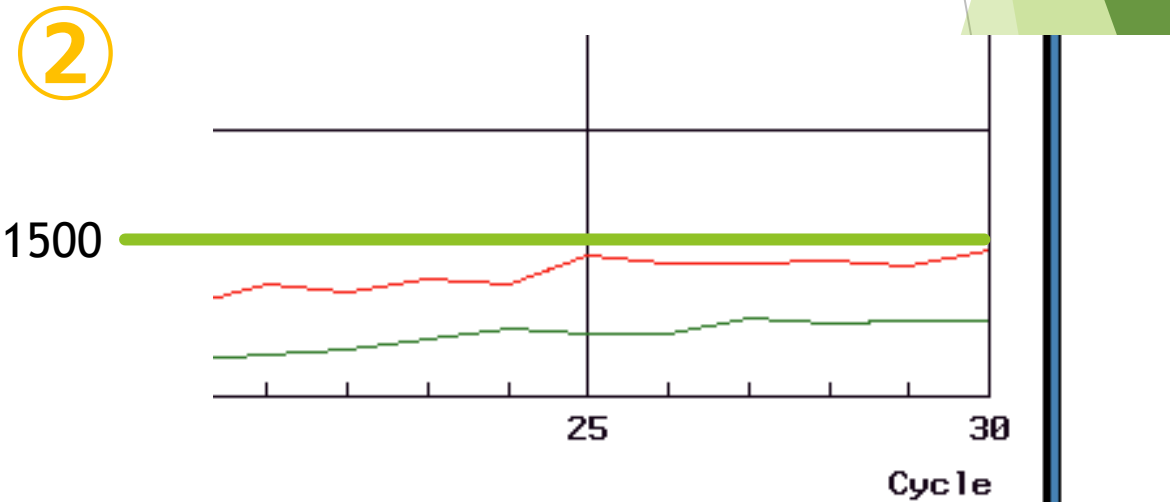
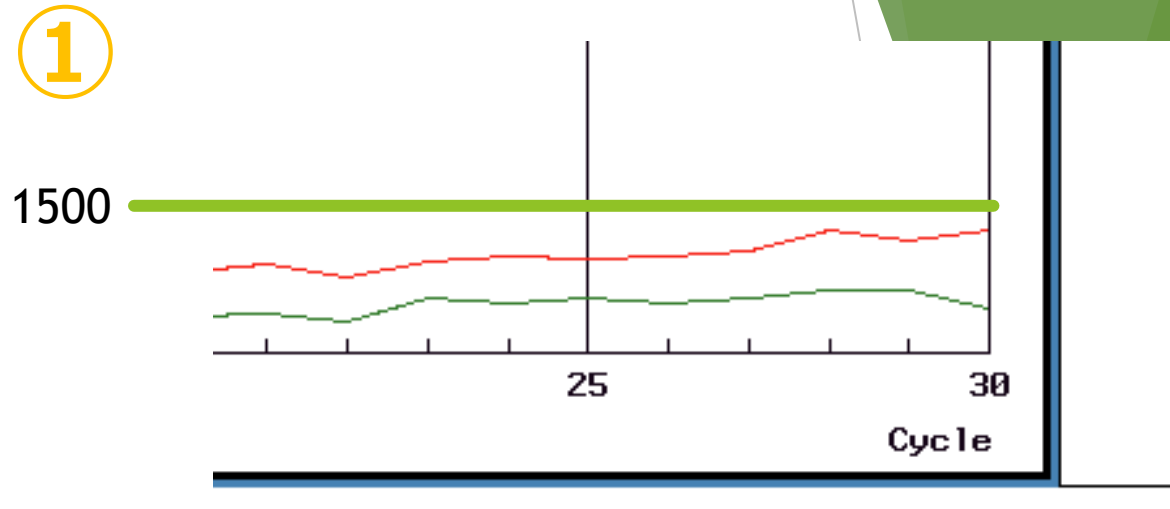
# 熱した場合



SEM像

通常の場合と比べたらCの量が少ない。

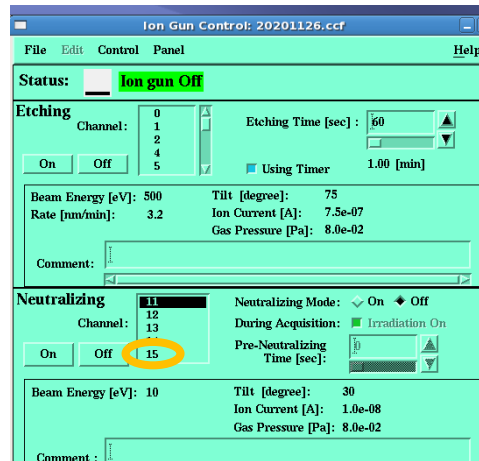
デプスプロファイル



赤色 : 炭素(C)

## 【オマケ】

→ 1回目、通常測定の際に誤って中和電子ch15を付けたまま測定してしまった事例

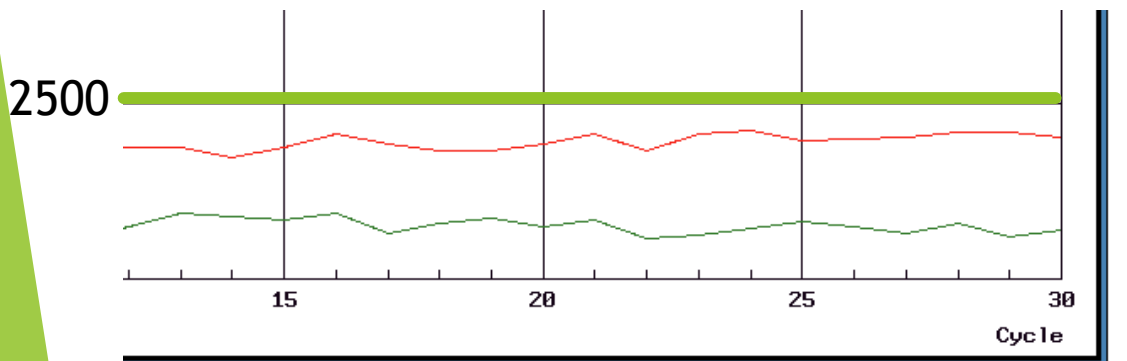


中和電子銃の効果のおかげか、時間が経ってもCの増加が見られない。増加量が少ない。

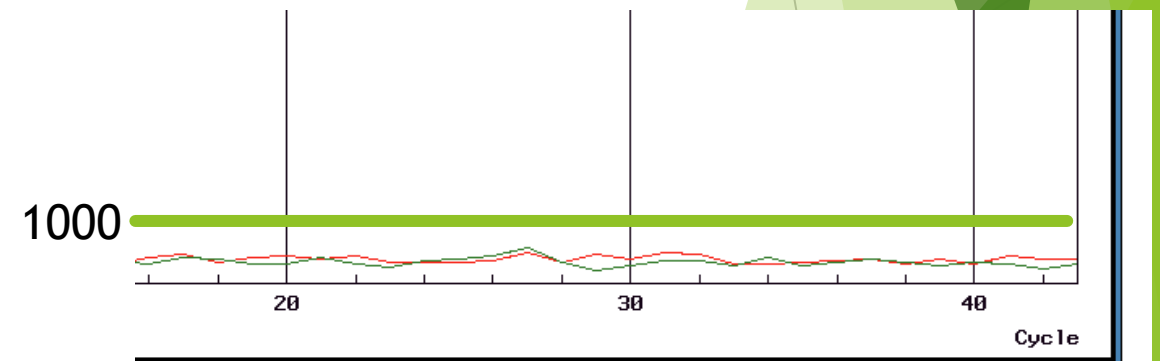


中和電子銃には**コンタミを抑える効果**がある！

中和電子なし



中和電子あり



試料は同じ。

赤色：炭素(C)